

機械器具 27 医療用ミクローム
一般医療機器 回転式ミクローム (JMDN コード 15158000)

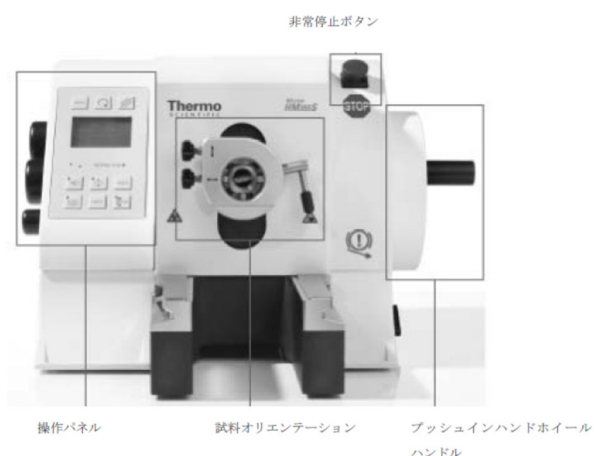
ロータリーミクローム HM355S

【警告】

- 組織由来の試料(特に未固定の試料)は感染の恐れがあるため、取扱いの際はディスポーザブル手袋や保護衣を着用し、使用後は装置の汚染除去と清掃を行うこと
- ミクローム用ナイフ/ブレードの刃先は非常に鋭利なため、取扱い時にはメッシュ手袋を着用すること
- 試料の取り付け、取り外し、切片屑の掃除など試料ヘッドの周囲で作業を行うときは、必ずハンドホールブレーキをかけ、ナイフガードを使用すること

【形状・構造及び原理等】

1. 概要及び外観



2. 寸法及び重量

寸法 410(W) ×520(D)×280(H) mm
重量 31 kg

3. 電氣的定格

電圧 AC 100—240 V
周波数 50/60 Hz
消費電力 1.6A
電圧変動は定格電圧±10%の範囲内であること

4. 原理等

本品は、試料ホルダーに固定した試料をハンドホイールの回転操作により、上下移動、およびキャリアに固定されたブレード(またはナイフ)に向かって設定値分漸進移動させて薄切する。

【使用目的又は効果】

組織試料の切片を薄片に削るために用いるミクロームである。通常、試料は削り取る前にパラフィンワックスで安定(固定)させる。切片ははずみ車の回転ごとに削り取られる。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照すること。

1. 設置

- 開梱の前に輸送による損傷の有無を確認する。梱包材に損傷が認められた場合は、装置や付属品に損傷がないかどうか慎重に確認する。
- 装置設置場所の近くで開梱し、梱包内容を確認する。
- 装置を水平な台の上におく。切片廃棄トレイをベースプレート前面に取り付ける。
- 操作パネルの背面のコネクターに、ケーブルを接続する。
- 操作パネルのケーブルをミクロームの背面のコネクタ(X15)に接続し、2 つの止めネジで固定する。
- 操作パネルのノブを左側又は右側に取り付ける。
- ミクロームの背面のコネクタ(X16)にドングル(インターロックコネクタ)又はフットペダルケーブルのプラグを接続する。
- 装置背面の電源ソケットに付属の電源コードを接続し、そのあと、電源プラグを電源コンセントに差し込む。
- 電源スイッチを入れる。

2. 操作方法

詳細は取扱説明書を参照。

- 装置の電源をいれる。ハンドホイールは一番上でロックしておく。
- 試料クランプ等を使用して、試料を取り付ける。
- ナイフキャリアをあり継ぎガイドに装着し、ナイフ又はブレードを挿入し、位置と角度を調整しクランプで固定する。
- レバーを回してハンドホイールのロックを緩める。
- 粗動送りノブを回して、試料を水平移動させてナイフの刃先の位置調整を行う。
- 電動カッティングドライブを使用する場合は、カッティングウインドウボタンを押してカッティングウインドウを設定する。
- 切片厚設定ノブを回しトリミング厚と薄切厚を設定する。設定値は操作パネルの画面に表示される(FEED: 切片厚(薄切厚)、TRIM: トリミング厚)。
- TRIM を指定し、トリミングを行う。
- ハンドホイールを回して薄切を行う。
- 電動カッティングドライブを使用する場合は、MODE ボタンを押して、電動モードを設定する。
- START/ STOP ボタンを 2 回押し、電動カッティングをで薄切を行う。

取扱説明書を必ずご参照下さい

【使用上の注意】

1. バイオハザード
 - 1) 切片くず、消毒や掃除に使った液はバイオハザード廃棄物として規定に従って処分すること。
2. ナイフおよびブレード
 - 1) ナイフをナイフキャリアにセットする前に試料ホルダーを固定すること。
 - 2) 使用していないナイフはナイフケースに保管すること。
 - 3) ナイフの刃を上向きに置いたり、刃先に触れたりしないこと。
3. その他の注意事項
 - 1) 過電流による損傷を防ぐため、必ず保護接地された電源に接続すること。
 - 2) 装置に不具合が生じたときや修理が必要ときは電源を切り、販売店または製造販売元に連絡すること。
 - 3) 薄切は通常室温で行う。高温になるとパラフィンが軟化して薄切が困難になるため、直射日光やその他の熱源への曝露を避けること。

製造販売元:PHC 株式会社

TEL 0120-878-279

* 製造元: Epreia Laboratory Products Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd.

輸入先国: 中華人民共和国

【保管方法及び有効期間等】

1. 設置及び使用環境
 - 温度 10～40℃
 - 湿度 60%以下
 - 室内専用、直射日光、空調の影響を避けること
 - 振動がなく水平な場所に設置すること

2. 耐用期間 7 年（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

作業を始める前にハンドホイールをロックすること。

1. 試料くずの掃除
 - 1) 試料くず、パラフィंकずは乾燥したブラシでできるだけ頻繁に除去する。
 - 2) 特にナイフの表面および裏面、ガイド、クランプ部分のくずは確実に取り除く。
 - 3) 切片廃棄トレイを取り外し、不要な切片やくずを各施設の規則にしたがって処分する。
2. クリーニング
 - 1) ナイフキャリアからナイフを取り外す。取り外したナイフは乾いた布できれいにし、ナイフケースに保管する。
 - 2) クリーニングには家庭用の中性洗剤をうすめて湿らせた布を使用し、特に試料が接触することのあるナイフキャリアとその周辺、試料クランプ、あり継ぎガイドの溝、ハウジング、操作パネルは丁寧にクリーニングする。(ただし、液体をかけたりこぼしたりしないこと。また、装置のカバーを外して内部の掃除はしないこと。)

業者による保守点検事項

1 年に1度、業者による保守点検を実施すること。

点検項目は下記の通り。

1. 動作点検
2. 内部パーツの点検と交換

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】